

平成18年10月23日

高円寺の環境を守る会  
代表 山本 典子 様

「警察大学校等跡地の開発をめぐる抗議・要望書」の回答が遅くなりました事をお詫  
び申しあげます。

東京都 都市整備局 都市づくり政策部  
土地利用計画課長 妹尾 高行

平成18年10月23日

高円寺の環境を守る会  
警察跡地をまるごと緑と防災の広場でのこす会  
高円寺北有志  
高円寺南5丁目有志

東京都都市整備局都市づくり政策部  
土地利用計画課長 妹尾高行

「警察大学校等跡地の開発をめぐる抗議・要望書」について、下記のとおり回答します。

1. (前文省略) 上記のような東京都の間違った認識のまま中野区の開発計画を正当化し容認することは関係者をあざむくものであり、強く抗議する。

(意見主旨)

「貴重な公有地を民間に売却して高層ビル群をつくる現在のまちづくり計画について、「開発の方向性は基本的に変わらない」から「是」とする」という東京都の認識は本質的に間違っている。」

(回答)

① 平成13年度に策定した「警察大学校等移転跡地土地利用転換計画案」では、清掃工場をはじめ病院、住宅、福祉、文化施設などの多様な機能を導入し複合的なまちづくりを行うこととしていました。

平成17年度に策定した「警察大学校等移転跡地土地利用転換計画案」の見直しにおいても、警察病院や大学等の教育機関の設置のほか、多様な機能の導入を図ることとなっており、開発の方向性は基本的に変わっていないと考えております。

(意見主旨)

避難場所としての機能は「3ないし4ヘクタール程度のまとまった緑地空間を確保することにより、特段の問題は生じない」「従前の計画案で確保していた4ヘクタールに見合う空間。確実にその空間が確保できていくという自信がある」としている点について、当初予定していた中学校部分には、警視庁の建物ができます。これ一つ取ってみても「まとまった緑地空間の確保」の実現性は後退している。東京都が「4ヘクタールの中央防災公園構想」と同等のものであるかのように公言し容認することは住民をあげおくものです。

(回答)

② 「警察大学校等移転跡地土地利用換計画案」の見直しにおいて、

1. 5ヘクタールの都市計画公園を整備するほか、民間の開発に合わせ、オースピンスペースを確保することにより、約3ないし4ヘクタールのまとまった緑地空間を確保することとなっております。

また、オースピンスペースについては、地区計画などの活用により確実に確保することが可能であると考えております。

(意見主旨)

「中野駅周辺まちづくり計画」は、「警察大学校等移転跡地土地利用換計画案」から大きな方針変更について、関係住民への合意はもろろん、周知もなく中野区が一方向的に進めたものです。東京都がいう「住民参加の計画」は間違いです。

(回答)

③ 「中野駅周辺まちづくり計画」の策定に当たっては、中野区より平成

15年から17年の三年間にわたり、区民の意見を聞く区民検討会の開催や区条例に基づきパブリックコメントの実施など、区民意見に十分配慮し計画を策定したと聞いております。

2. 今後については、上記で指摘した認識を改め関係住民との合意形成を基本に、従前計画と同様に防災緑地を基本に整備を進める立場に立つよう求めるものです。

(回答)

前述のとおり、中野区より区民意見に十分配慮し計画を策定したと聞いており、「警察大学校等移転跡地土地利用転換計画案」の見直しにおいて、約3ないし4ヘクタールのまとまった緑地空間を確保することとなっております。

3. 当面、より安全な避難場所として確保する立場から、警察庁舎として処分を保留した部分は、中野区が中学校用地、公園として取得する意向があれば、都としても支援をするということを表明するよう求めるものです。

(回答)

財務省の土地処分の方向性や中野区のまちづくりの計画を踏まえ、適切に対応していきたいと考えております。

4. 警察大学校等跡地の避難場所の確保については、都の責任で当面中野区に計画を中断させ、都が関係住民に根拠ある説明を行う場を早急に設けるよう求めるものです。

(回答)

避難場所については、原則として1人当たり1㎡を確保できるよう、中野区と調整を進めております。なお、中野区が実施する当該跡地開発に関する説明等の中で、今後とも、避難場所の考え方についても説明が行われると聞いています。